

飼料効率を知る

飼料効率は乳牛効率とも呼ばれるが、乳牛が飼料を乳に変換する効率を表す。泌乳牛の飼料効率は、以下の3つの条件次第で1.0以下から2.0まで変化する。

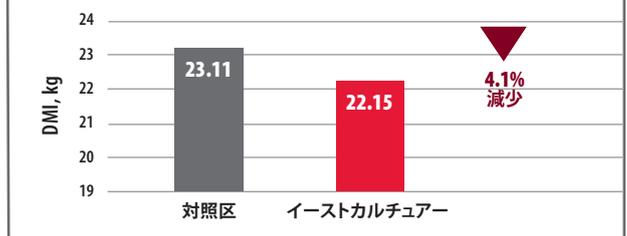
- ・ 飼料摂取量は変わらず、産乳量が増える。
- ・ 産乳量は変わらず、飼料摂取量が減る。
- ・ 飼料摂取量が減り、産乳量が増える。

良い結果をもたらす

研究の結果、泌乳中期から後期にイーストカルチャーを与えた乳牛は、乾物摂取量が0.96kg減少(4.1%)したのに対し産乳量は1.1kg増え(3.9%)、飼料の有効性が改善した。飼料効率が改善(6%)したことにより、乾乳期に向けて適切なボディコンディションが維持される。

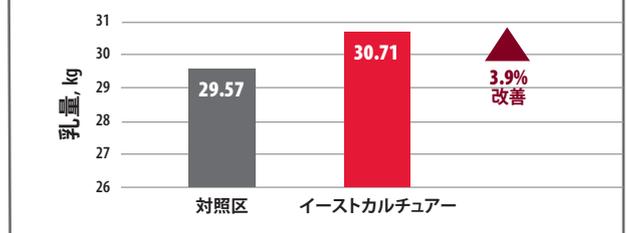
泌乳中期から後期

乾物摂取量



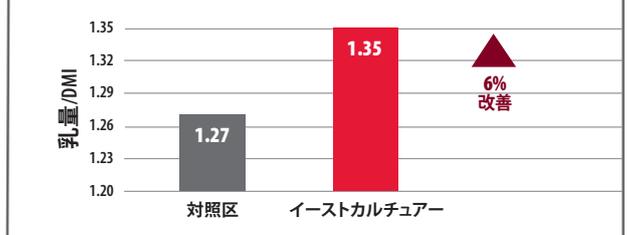
※6つの研究の平均

産乳量



※16の研究の平均

飼料効率



※5つの研究の平均



特徴

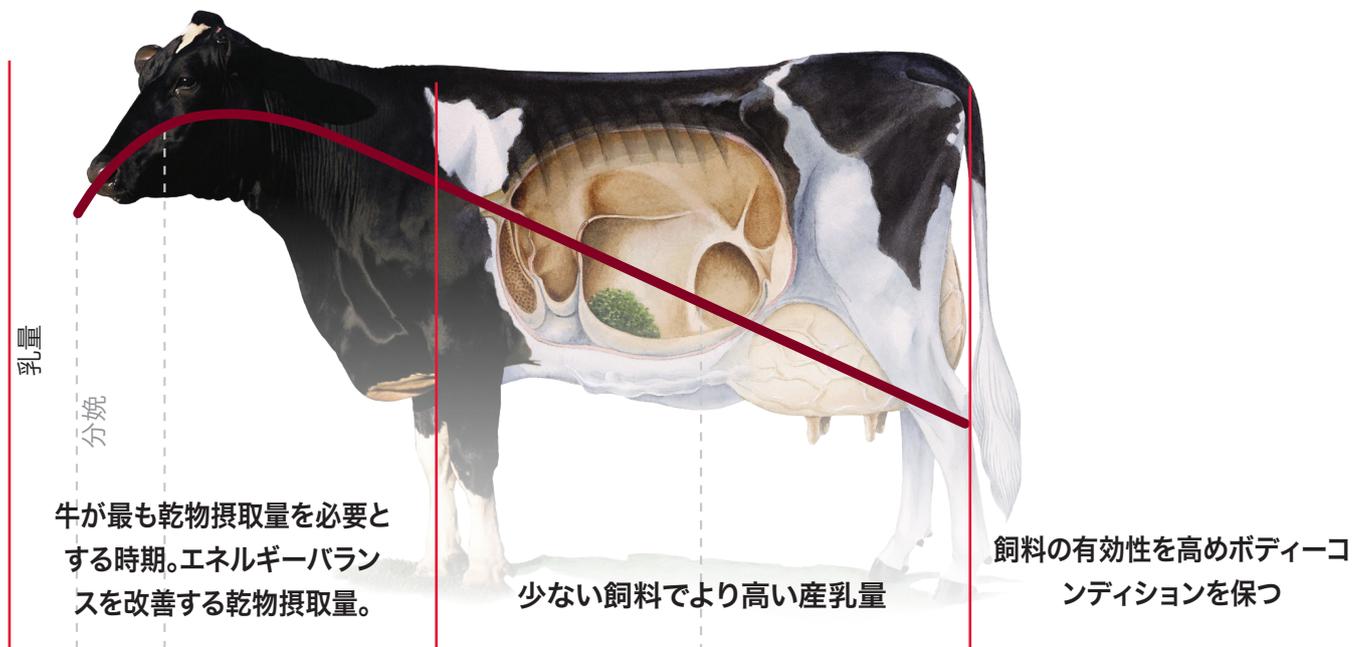
自然からの原料を使い、科学的 研究に基づいてつくられたイーストカルチャー製品はルーメンの健康と効率にとって大切な栄養をもたらす。ルーメン機能が改善 されれば、最大の能力を発揮する健康な牛 がうまれる。この研究は、XPが以下をサポート することを証明。

- ・ 乾物摂取量と消化率
- ・ 飼料効率
- ・ 乳量

ルーメン機能を最適に

イーストカルチャーを与えると、泌乳サイクル全体で乳牛のパフォーマンスを高めることができる。自然からの原料を使い、科学的研究に基づいてつくられたイーストカルチャー製品は、ルーメンの健康と発酵効率を

改善するのに必要な大切な栄養をもたらす。ルーメン機能が改善されれば、最大の能力を発揮する健康な牛が生まれる。



乳量

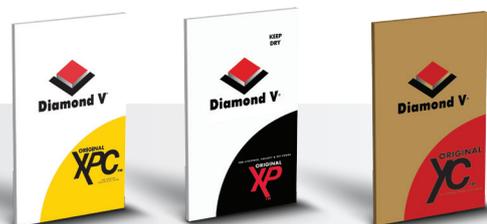
分娩

牛が最も乾物摂取量を必要とする時期。エネルギーバランスを改善する乾物摂取量。

少ない飼料でより高い産乳量

飼料の有効性を高めボディコンディションを保つ

移行期	泌乳初期	泌乳中期	泌乳後期	乾乳前期
ルーメン機能を最適にする		飼料効率を最適にする		栄養素の有効性を高める
研究がイーストカルチャーが以下をサポートすることを証明。				
<ul style="list-style-type: none"> 乾物摂取量 (+0.46 kg) 産乳量 (+1.50 kg) 体重ロスの低下 (+0.12% improvement) 乳脂肪 (0.22 kg 改善) 全般的な牛の健康 (39% 少ない代謝) 		<ul style="list-style-type: none"> 産乳量が1.1kg増加 乾物摂取量を0.95kg少なく摂取 飼料効率が6%まで改善 		<ul style="list-style-type: none"> 乾物摂取量 妊娠を維持するエネルギーバランス 全般的な牛の健康、ボディコンディション及びルーメンコンディションの保持



イーストカルチャーは泌乳サイクルを通じて良い結果をもたらす。

If you would like more information, please contact your local Diamond V representative.

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-7-1
フリーダイヤル 0120-03-7432 | www.nastokyo.co.jp

©2012 Diamond V Mills, Inc. All rights reserved.
Diamond V® is a registered trademark and Original YC™, XP™, and XPC™ are trademarks of Diamond V Mills, Inc.

2525 60th Avenue SW | Cedar Rapids, IA 52404 | USA
800.373.7234 | +1.319.366.0745 | www.diamondv.com

